



# サフラン便り

第50号 23年4月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

## 平成22年度後期スクーリング研修会報告

日時：平成23年2月27日（日）9:00～14:40

場所：佐賀県薬剤師会館 2階研修室 参加人数：99名（県外20名）

### 講演内容

- ①「アレルギー性鼻炎（特に花粉症）の臨床」 森川耳鼻咽喉科院長 森川郁郎先生
- ②「うつ病について」 有朋会嬉野温泉病院 副院長 吉本静志先生
- ③「高血圧治療ガイドライン2009について JSHとの比較」 諸江内科循環器科院長 諸江一男先生
- ④「ホルモン補充療法を中心とした更年期障害の治療」 渡部産婦人科院長 渡部洋子先生

### （感想）

- ・精神科の講義は特に有意義でした。できれば毎回精神科の先生の講演があることを希望します。自己学習が難しい分野だと思います。
- ・うつ病が生涯7人に1人はなり得ると聞き、気分良好ですかと患者さんに伺うことにします。
- ・うつ病のお話は日常ではあまり見聞きすることがなかったので、大変興味深く有意義でした。
- ・最先端の治療の話が聞けて大変勉強になりました。
- ・日々の診療の経験も交えて講演くださり、話が大変分かりやすかったです。
- ・鼻炎治療でのレーザー治療は興味深いものでした。
- ・どの講演も先生の実体験に基づいてとても興味深く聴かせて戴きました。
- ・このようなスクーリングを地元佐賀で受けられることをとても感謝しています。
- ・参加者の多さと受講態度・マナーが良かったです。
- ・女性薬の役員の方が、講義がスムーズにいくよう気使ってくださいの姿が印象的でした。
- ・臨床医による講義なので具体的でわかりやすかった。どの講演についても自分の疑問に思っていた点を解明できてよかったです。時間もちょうどいいです。
- ・今後もスクーリングを続けていきたいです。
- ・精神疾患の診療基準が世界でバラバラだったということに驚きました。今でも一致しない部分があるということに精神疾患の診断がいかに難しいかを感じました。とてもわかりやすいご講演ありがとうございました。
- ・コーヒーやキャンディの準備など細かい心使い、とても嬉しく思いました。



### （平成23年度診療ガイドライン薬剤コース募集について）

東日本大震災の影響で5月からの配信となりました。まだの方は間に合います。是非ご参加ください。

本年度の講座内容：糖尿病「重要なことは継続治療・うつ病「頑張ると言わないで」

- ・加齢に伴う眼科疾患・妊娠出産「未来世代の新しい命のために」
- ・肝炎肝硬変「肝臓は本当に沈黙の病気か？」・認知症「アルツハイマーとの関連」
- ・副鼻腔炎「安易な抗菌薬投与は禁物・アトピー性皮膚炎「かゆいがストレス」

### ちょっと一言

今回の震災で犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。これだけ繁栄したものも天変地異には空しく崩れ去る事があると思ひ知らされました。日本では1200年前に先人が改修した池が今も役に立っていたり、古代ローマの道路は2000年以上経った今も使われていると聞きました。国民の命を何百年何千年と守っていける「見識の高い人物」がこれから育て下されることを祈ります。「無一物中無尽蔵。花あり月あり樓台あり」（島田）

## (育児法の原義)

- (1) 世に牛乳の適する乳児と適さざる乳児と有ると云う事を時々聞きますが、是れ生まれつき強健な乳児と虚弱な乳児と有るためでありまして強健なものは堪へ虚弱なものは堪へ能わずして病気になるのであります。然し體質を弱める事は強弱共に同一であります。其の立証として如何に健康な乳児も牛乳及び粉末牛乳のみにて三、四ヶ月も養育すれば顔色次第に蒼白くなるは世間周知の事実にて明らかであります。真の母乳代用品とは母乳同様血色良好で有らねばなりません。
- (2) 日本政府の定めたる関税規定に於きましても粉末牛乳(Powder milk)即ち牛乳代用品と(Infant food)即ち母乳代用品とを明らかに区別し其の取扱いを異にして居ります。然るに粉末牛乳即ち牛乳代用品(溶解して牛乳になれば極一級品)を以て等しく母乳代用品と誇称し、販売せるもの数々ありますが、誠に不徹底の事であります。ポーデンス、モルモット、ミルクは確かに(Infant food)即ち母乳代用品と規定せられ、其の取扱いを受けております。故にここに公言し尚其の真価を第16頁に於いて詳しく説明してありますから御覧ください。

(米國ポーデンス・ミルク會社 ポーデンス・モルテッド・ミルク日本部 總代理店 岡本商會版)

## 東北地方太平洋沖地震による災害派遣報告書

東明館高校 吉松信幸(佐賀県薬会員)

期間：3月30日～4月4日 派遣場所：宮城県気仙沼市

活動内容：宮城県薬剤師会にて現状の説明を受け、気仙沼班、石巻班、南三陸班に分かれ現地に移動

- ・気仙沼市保険所にて現状の説明を受ける。市内施設の確認をする。
- ・DMAT 会議に出席。気仙沼班5名を大島班1名と避難所回り班4名に分かれる
- ・今まで一度も回っていない市北部の避難所に OTC 医薬品、支援物資を運ぶ。
- ・被災者の方からの医薬品の相談を受ける。薬の集積所の「すこやか」から市民病院に医薬品を移動させ、仕分けをする。
- ・唐桑半島にある避難所に OTC 医薬品支援物資を運ぶ。

連絡事項：気仙沼市民病院も4月4日より一般外来を再開する予定で、徐々に正常化しつつある。

- ・気仙沼班は大島の仮診療所(小学校の保健室)において調剤を担当する。



吉松先生は以前鳥栖三養基薬剤師会の広報担当理事をしていただいていたいました。現職は高校の化学の教師をされていますが、薬剤師としてボランティアをしたいとのことで申し出がありました。

## 東日本大震災支援活動(私たちが薬局でできること)

義援金箱に県薬から配信された、目に着くデザインの「義援金お願いのパンフレット」を利用して貼る。患者様にお薬が不足していることをさりげなく伝える。

(被災地の患者様自身の薬の喪失に加え、製薬企業、物流が滞っていることなどを話す)

残薬チェックの声かけをする。

(大事に飲んでくださいね。お薬残ってないですか?)

余裕のある後発品に変更できることをアピールする。

薬局で患者自身の服用薬の名前が言えるように指導。



災害関係の JALC (母乳育児) のサイト <http://jalc-net.jp/>

災害時の口腔ケア <http://www.oralcare-jp.org/index.html>

震災地の認知症患者さんの支援に関する情報 <http://sites.google.com/site/ninchishoshiennptect/>

放射線の健康影響について疫学の立場から日本疫学会理事会としての声明文

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jea/news/pdf/20110325seimei.pdf>